











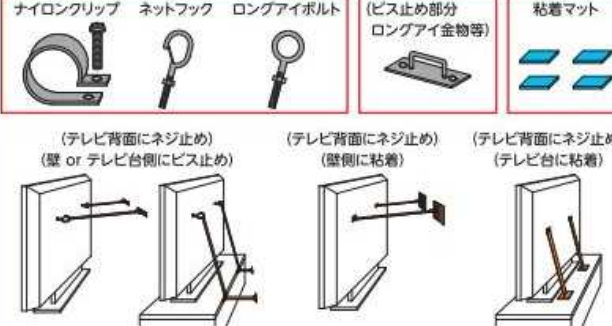



## 代表的な家具の固定方法

|             |   |  |  |
|-------------|---|--|--|
| <p>ポール式</p> | <p>1本足 2本足</p>           | <p>当て板</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 工具を必要とせず、比較的取り付けやすい固定方法です。</li> <li>● コンクリート等、強度のある天井を除き一般的な天井には当て板を設置してポール式を設置します。</li> <li>● 長さが短いほど効果があります。</li> <li>● 転倒防止プレートと併用すると効果大です。</li> <li>● 家具天板の左右の奥に垂直に設置します。</li> <li>● 取付け向きは左のイラストの向きです。</li> <li>● 壁と天井のコーナーを注視し、締めすぎないようにします。</li> </ul> |
| <p>L型金具</p> |                          |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 最も効果的な家具の固定です。</li> <li>● L型金具は壁の下地材(柱、間柱、胴縁等)、家具の芯材に固定します。</li> <li>● 壁の下地材の位置、家具の天板の芯材位置はセンサー、プッシュピン等で調べます。</li> <li>● 家具天板の芯材の位置にL型金具を取り付けようとする、壁明けが柱や間柱の位置とは限りません。この場合、柱や間柱、または、家具の天板に補助木材を取り付けてL型金具を設置します。</li> </ul>                                    |
| <p>ベルト式</p> | <p>ロングアイ金物等</p>          |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 網線(横下地)がある場合や和室で有効な固定方法です。既製品の固定器具の他、ロングアイ金物等とベルトやロープを組み合わせることもできます。</li> <li>● 壁にベルト金物を固定する場合、洋室の場合は壁の下地材(柱、間柱、胴縁、窓枠下地、ドア枠下地等)に取り付け、和室の場合は柱、鴨居、付鼠居(強度のあるもの)、廻縁などの造作材に取り付けます。</li> <li>● 家具天板の芯材位置にビス止めします。</li> </ul>  |
| <p>上下連結</p> | <p>一文字金物 平隅金物</p>       |            | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 側板の芯材位置にビスで固定します。</li> <li>● 上下の奥行の異なる家具の場合、倒板の前の固定には平L金物、後ろは一文字金物が適しています。(上下の連結位置に注意)</li> <li>● 粘着式のシートもあります。</li> </ul>  |
| <p>扉の固定</p> | <p>縮付打拵 耐震ラッチ 粘着式</p>  |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 耐震ラッチは内部に取り付けます。</li> <li>● 粘着式のものもあります。</li> </ul>   |

## 冷蔵庫・テレビの固定方法

|                   |  |  |
|-------------------|--|--|
| <p>冷蔵庫 (ベルト式)</p> | <p>(壁側ビス止め部分:ロングアイ金物等) 冷蔵庫側:持ち手</p> <p>(壁側:粘着) 冷蔵庫側:持ち手</p> <p>(壁、冷蔵庫側共:粘着)</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 冷蔵庫の背面上部の持ち手と、壁にビス止めしたロングアイ金物等をベルトやロープで結んで固定します。</li> <li>● 壁に粘着式のベースを取付けて冷蔵庫背面上部の持ち手とベルトで結ぶものもあります。</li> <li>● 壁と冷蔵庫ともに粘着するタイプもあります。</li> <li>● 粘着式は耐用年数、壁側の接着面の材料の適否に注意し、接着面を清掃して取付けします。</li> </ul>   |
| <p>テレビ (ベルト式)</p> | <p>テレビ背面</p> <p>ナイロンクリップ ネットフック ロングアイボルト</p> <p>壁面・テレビ台</p> <p>(ビス止め部分) ロングアイ金物等</p> <p>テレビのベース部分</p> <p>粘着マット</p> <p>(テレビ背面にネジ止め) (壁 or テレビ台側にビス止め)</p> <p>(テレビ背面にネジ止め) (壁側に粘着)</p> <p>(テレビ背面にネジ止め) (テレビ台に粘着)</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● テレビ背面のネジ穴(メーカーによって径が異なる)にナイロンクリップやネットフック、ロングアイボルトを取付けて、壁側にロングアイ金物等を取付けてベルトやロープ、専用固定器具を使って固定します。</li> <li>● テレビ背面のネジ穴(メーカーによって径が異なる)に固定し、壁やテレビ台に粘着するタイプもあります。</li> <li>● テレビのベース部分に粘着マットを併用しましょう。</li> </ul>  |

## 固定器具の効果

| 使用条件  | <span style="font-size: 2em;">小</span> ←————→ <span style="font-size: 2em;">大</span>   |   |  |   |  |  |
|-------|--|---|--|---|--|--|
| 単独使用  | <b>ストッパー式</b><br>                                   | <b>粘着式</b><br> | <b>ボール式 (1本足)</b><br>                       | <b>ボール式 (2本足)</b><br> | <b>ベルト式</b><br><br>ストッパー式と併用すると効果大  | <b>L型金具 (上向き取付)</b><br> |
|       | <b>マット式</b><br><br>●粘着性のもので家具等の木材には不適<br>●大きな家具には不適 | ●耐用年数に注意<br>●接着面の材料の適否に注意<br>●接着面を清掃して取付  | ●天井側(上部)に当て板を設置<br>●家具側(下部)は芯材の上部に設置<br>●ストッパー式と併用すると効果大   |   | <b>ワイヤー式</b><br><br>ストッパー式と併用すると効果大 |  |
| 組合せ使用 |  |   | ボール式(1本足)<br>ボール式(2本足)<br>+<br>ストッパー式<br> |   | ベルト式<br>ワイヤー式<br>+<br>ストッパー式<br>  |  |

ビスによる固定の場合は、壁側は下地に固定  
家具側は天板の芯材に固定

